

株主の皆様へ

第97期報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



OVAL

株式会社 オーバル

証券コード 7727



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は1949年に東京都品川区東大崎にて操業開始いたしました。本年5月10日に創立70周年を迎えました。これもひとえに、株主様の変わらぬご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

第97期における当企業グループの事業概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は堅調に推移していましたが、年度末に向けて、IT需要の減速や中国経済の停滞などにより下降傾向にあります。わが国経済も、個人消費や設備投資が下支えとなり緩やかに回復していましたが、世界経済の下降に伴い輸出が減少しています。米中貿易摩擦の継続、中国の設備投資の停滞など、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような経営環境のもと、当企業グループは、前中期経営計画「ADVANCE 2018」の戦略を引継いだ第2フェーズ「ADVANCE 2.0-2021」を新たに策定し、「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、業績の向上による継続的成長を目指し、一方で「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針とし、現在の厳しい経済環境に左右されにくい強固な経営基盤を構築するため、効率的な組織の改編および最適化にも取り組んでまいりました。

当連結会計年度は、「新製品」戦略として気体計測用マルチパス超音波流量計「FLOWSIC600-XT（フローシック600エクスティ）」、円ギア容積流量計「Hi SHOTGEAR（ハイショットギア）」、渦式フローモニタ「Eggs DELTA II（エッグスデルタツウ）」を販売開始し、また「グローバル」戦略として中国の連結子会社HEFEI OVAL INSTRUMENT CO., LTD.の蘇州営業所を開設し、さらに「新規事業」戦略として樹脂型渦流量計事業の譲渡契約を締結し、中期経営計画で策定しました戦略を各々実行してまいりました。

その成果が一部業績にあらわれ、当連結会計年度の売上高は11,715百万円（前期比7.0%増）、経常利益は497百万円（同75.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は472百万円（同284.5%増）となりました。

なお、当期の配当は、中間配当の1株当たり3円と合わせ、年間配当では1株6円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、力強さは欠くものの、雇用、所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されますが、米中貿易摩擦の影響や中国経済の先行きなど世界経済の不確実性に留意する必要があります。

このような経営環境のもと、当企業グループは、中期経営計画「ADVANCE 2.0-2021」2年目の年として、次期は着実に戦略を遂行し且つ成果を享受し、収益の向上と安定的な成長が望める企業体質の構築を目指します。

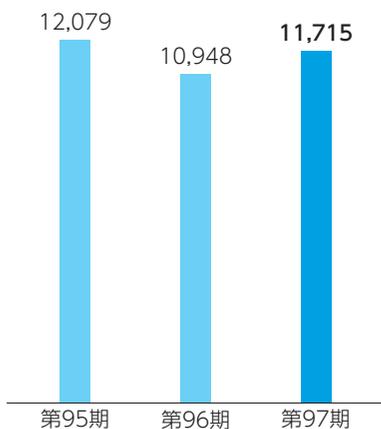
株主の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

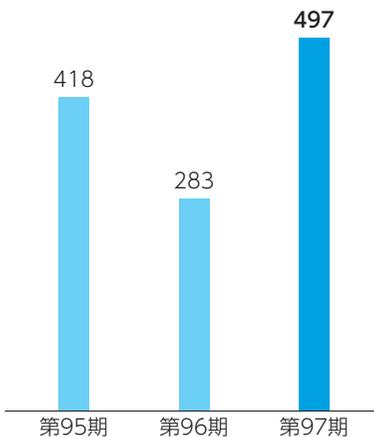
代表取締役社長

谷本淳

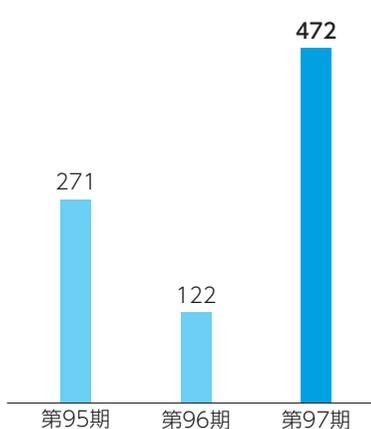
売上高 (百万円)



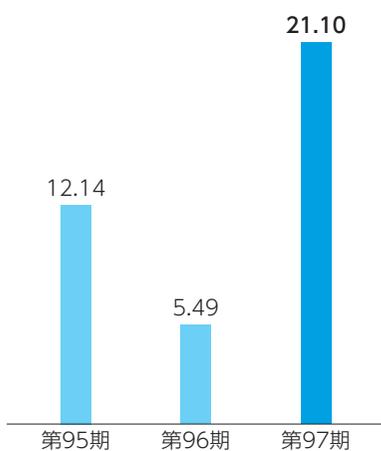
経常利益 (百万円)



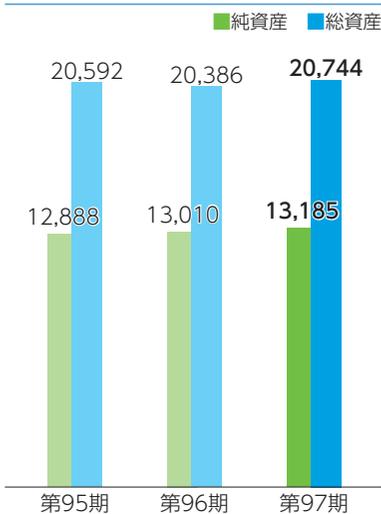
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



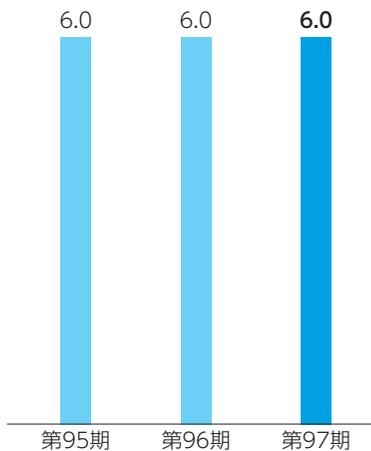
1株当たり当期純利益 (円)



純資産・総資産 (百万円)



1株当たり配当金 (円)



樹脂型渦流量計 事業譲渡契約締結

2018年11月26日に横河電機株式会社との間で、樹脂型渦流量計事業の事業譲渡契約を締結しました。

中期経営計画『ADVANCE 2.0-2021』では、「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、また、「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針として取り組んでおりますが、そのなかでも「新規事業」の拡大戦略では、M&Aによる新規事業参入や流量計を中核とした新たなサービスの提案を検討しております。

樹脂型渦流量計事業は1969年に世界で初めて渦流量計を製品化した横河電機株式会社の技術やノウハウが利用されており、その製品は小型軽量で利便性が高く、信頼性および耐久性ならびに保守性に優れており、大手半導体向け機器メーカー等のお客様から高い評価を得ております。

当企業グループは、樹脂型渦流量計事業を取り込むことは流量計分野における製品ラインナップの拡充に繋がると考えております。また、樹脂型渦流量計事業が有する技術やノウハウを取り込み、新たなお客様との取引拡大も見込んでおり、樹脂型渦流量計のみならず、既存の当社製品・サービスを半導体市場に拡販し、当企業グループの成長を目指してまいります。



【樹脂型渦流量計】



【実流試験装置】

▶▶ 新製品紹介

①気体計測用マルチパス超音波流量計「FLOWSIC600-XT」(フローシック600エックスタイ)

2018年10月に販売を開始した「FLOWSIC600-XT」は、4対のセンサと高度な信号処理技術によって実現した次世代の気体計測用超音波流量計であり、今後需要が拡大すると予想される、中圧・高圧大容量の天然ガス計測など、高精度の特長を生かした取引用流量計として最適な流量計です。また、「FLOWSIC600-XT」はマルチパス超音波流量計「FLOWSIC600(フローシック600)」の後継機として「FLOWSIC600」と面間、出力に互換性があり、専用通信ソフトによるさらなる充実した自己診断確認・パラメータ設定が可能となります。



②円ギア容積流量計「Hi SHOTGEAR」(ハイショットギア)

2019年2月に販売を開始した円ギア容積流量計「Hi SHOTGEAR」は、高応答、高分解能が要求される短時間バッチ制御が可能な流量計であり、主に塗装ブースや塗装ロボットでの塗料の使用量管理に適しており、コンパクトな構造であるため、各種装置への搭載にも最適です。本質安全防爆構造となっているため、危険場所での使用も可能です。



③渦式フローモニタ「Eggs DELTA II」(エッグスデルタツウ)

2019年2月に販売を開始した「Eggs DELTA II」は、当社の主力製品である「Eggs DELTA」のリニューアル機種であり、圧電素子センサを使用した、液体、気体と幅広い流体にご使用頂ける小型、軽量の渦流量計です。流体の流れに直角に置かれた三角柱の下流には、流速に比例した周波数のカルマン渦が発生します。本器は、このカルマン渦の数を圧電素子センサにより検出し、流量を計測します。

今回開発した「Eggs DELTA II」は、表示の視認性向上のため、背景色がオレンジ色の液晶を使用しました。また、瞬時流量のバーグラフ表示の他、単位表示を見やすく大きくするなど、表示機能を拡充しました。更に、気体の温度・圧力補正固定換算機能付き仕様では、温度値、圧力値を入力することにより、固定換算を実行することができます。

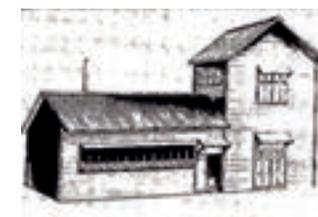


▶▶ 創立70周年記念式典開催

2019年5月10日、当社本社ならびに横浜事業所において創立70周年記念式典を開催しました。

記念式典では、当社がオーバル歯車の特許実施権の提供を受け、その特許を流量計に応用し、オーバル機器工業株式会社として企業化した1949年からの70年の歩みを映像で振り返りました。その後、当社社長が、存在理念「オーバルは、オーバルを支え、育てる人々のために存在する。」を紹介し、当社を支えてくださった全ての皆様に感謝の意を表すとともに、全員で力を合わせて80年、100年企業を目指す、当社発展に向けた力強いメッセージを述べました。また、ご臨席賜りましたご来賓の方々より、たくさんの心温まるお祝いのお言葉をいただきました。最後に社歌を斉唱し、全員の心をひとつにして締めくくりました。

70周年記念式典を節目として、当社は創業以来築き上げてきた強みを活かし、「流れに価値を加えます」の企業メッセージとともに、企業グループの発展に更に努めてまいります。



【創業当時の工場】



【式典会場(本社)】

会社の概要

商号	株式会社 オーバル
英文商号	OVAL Corporation
代表者	谷本 淳
創業	1949年(昭和24年)5月10日
市場	東証1部
資本金	22億円
事業内容	1. オーバル歯車式およびその他各種流量計の製作販売 2. 計測管理およびエネルギー管理用諸機器、諸装置の製作販売 3. 計装および環境制御に関する諸工事ならびにこれに関連する諸機器の製作販売
従業員数	669名(連結)
本社	〒161-8508 東京都新宿区上落合三丁目10番8号 電話番号(03)3360-5009(経営企画室)
主要な事業所および営業所	横浜事業所および東北、神奈川、中部、大阪、岡山、九州営業所
子会社	株式会社山梨オーバル、オーバルアシスタンス株式会社、株式会社宮崎オーバル(以上国内)、HEFEI OVAL INSTRUMENT CO., LTD.、HEFEI OVAL AUTOMATION CONTROL SYSTEM CO., LTD.(以上中国)、OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.(シンガポール)、OVAL TAIWAN CO., LTD.(台湾)、OVAL ENGINEERING INC.(韓国)、OVAL ENGINEERING SDN. BHD.(マレーシア)、OVAL Corporation of America(米国)

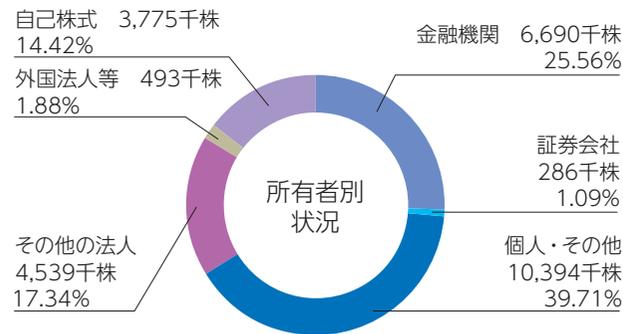
取締役および執行役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役社長	谷本 淳
取締役 兼 専務執行役員	奥野 保
取締役 兼 執行役員	池田 國高
取締役 兼 執行役員	浅沼 良夫
社外取締役 常勤監査等委員	池上 幸定
社外取締役 監査等委員	加瀬 豊
社外取締役 監査等委員	長野 和郎
執行役員	加藤 芳樹
執行役員	新國 誠治
執行役員	小椋 亨
執行役員	小熊 仁
執行役員	今井 信介
執行役員	大橋 秀二郎

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	22,404,109株(自己株式3,775,891株を除く)
株主数	5,040名

株式の分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	1,900	8.5
東京計器株式会社	1,309	5.8
轟産業株式会社	1,091	4.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	764	3.4
日本生命保険相互会社	691	3.1
株式会社三笠	605	2.7
横河電機株式会社	512	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	480	2.1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	422	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	378	1.7

(注) 1. 当社は自己株式を3,775千株保有しておりますが、上記には含めておりません。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel.0120-232-711(通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所

電子公告により行う。
公告掲載URL <https://www.oval.co.jp>
(ただし、電子公告によることのできない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●当冊子についてのお問い合わせ先

株式会社 オーバル

〒161-8508 東京都新宿区上落合三丁目10番8号
Tel.03-3360-5009 Fax.03-3365-8600

<https://www.oval.co.jp>

